

記載されている情報の正確さについては万全を期しておりますが、当会は利用者が当会の情報を用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：全般

タイトル：Coronavirus Disease 2019 (COVID-2019) Infection Among Health Care Workers and Implications for Prevention Measures in a Tertiary Hospital in Wuhan, China

概要：目的 医療従事者の COVID-19 感染リスクと臨床的特徴を調査し、可能な予防策を検討する。デザイン・アウトカム 武漢の Tongji 病院に勤務する医療従事者 9,684 人を対象に、2020 年 1 月 1 日～2 月 9 日の COVID-19 発症者のデータを収集した。新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の曝露・疫学・人口統計に関する情報はアンケートから、臨床・検査・放射線学的な情報は電子記録から収集した。また、335 人の医療従事者を無作為に抽出し、高リスクで無症状者における感染率を推定した。環境表面のサンプルも収集した。結果 Tongji 病院の 9684 人の医療従事者のうち 110 人が COVID-19 の陽性を示し、感染率は 1.1%であった。そのうち 70 人 (71.8%) が女性で、年齢の中央値 (IQR) は 36.5 歳 (30.0～47.0 歳) であった。17 名 (15.5%) が発熱診療所または病棟に勤務しており、発熱病棟・外来の医療従事者の感染率は 0.5% (17/3110 名) であった。発熱病棟・外来以外の医療従事者では 93/6574 人 (1.4%) が感染していた。45 歳未満の発熱病棟・外来以外の看護師は、45 歳以上の発熱病棟・外来で勤務する医師よりも感染する可能性が高かった (感染率比、16.1 ; 95%CI、7.1-36.3 ; P<0.001)。無症状性感染の有病率は、発熱病棟・外来の医療従事者では 0.74% (1/135 人)、発熱病棟・外来以外の医療従事者では 1.0% (2/200 人) であった。全体として、COVID-19 を有する医療従事者の 93/110 人 (84.5%) は重症化せず、1 人 (0.9%) が死亡した。主な症状は発熱 (67 [60.9%])、筋肉痛または疲労 (66 [60.0%])、咳 (62 [56.4%])、咽頭痛 (55 [50.0%])、筋肉痛 (50 [45.5%]) であった。医療従事者の主な感染経路は、患者 (59.1%)、同僚 (10.9%)、家族や友人 (12.7%) であった。まとめ 医療従事者の感染のほとんどが流行初期に発生していた。また、これまでのウイルス感染症の流行時とは異なり、発熱外来や発熱病棟などで勤務する医療従事者に比べ、それ以外で勤務する医療従事者の感染率が高かった。

出典

<https://jamanetwork.com/journals/jamanetworkopen/fullarticle/2766227>

アクセス日：2020-5-29

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：全般

タイトル：Temporal Dynamics in Viral Shedding and Transmissibility of COVID-19

概要：中国およびアジア諸国で確認された、COVID-19 確定例および 2 次感染者 77 ペアを対象に解析し、発症から 2 次感染者が発症するまでの期間は平均値 5.8 日 (95%CI:4.8-6.8)、中央値 5.2 日 (4.1-6.4)、感染性は発症前 2-3 日 (0.8-3.0) から現れ発症前 0.7 日 (-0.2-2.0) で最も高くなると推定した。これに従えば 2 次感染者の 44% (25-69) は発症前の患者から感染していたことが予測される。

出典

<https://www.nature.com/articles/s41591-020-0869-5>

アクセス日：2020-5-24

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：全般

タイトル：First-wave COVID-19 transmissibility and severity in China outside Hubei after control measures, and second-wave scenario planning: a modelling impact assessment

概要：中国では大規模な公衆衛生的介入が行われたが、緩和した場合の再増加を予測するために主要都市を含めた 31 の省を対象に実行再生産数 R_t と COVID-19 確定例の致死率 $cCFR$ を調査した。介入後の 1 月 23 日以降に全ての都市および省において R_t は 1 以下を維持し、 $cCFR$ は河南省で 1.76%(95%CI:1.11-2.65)と最高値であったが医療環境の違い等から地域較差が大きかった。緩和により R_t は 1 を超え、その後指数関数的に増加されることが予想され、緩和した状態で R_t が 1.5 以下にならなければ再度積極的な介入に時間を要することが示唆された。

出典

[https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(20\)30746-7/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(20)30746-7/fulltext)

アクセス日：2020-5-24

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：慢性期;在宅期

タイトル：The Potential Long-Term Impact of the COVID-19 Outbreak on Patients With Non-Communicable Diseases in Europe: Consequences for Healthy Ageing

概要：非伝染性疾患（NCD）を持つ患者に対する COVID-19 の長期的な影響について述べているレビュー。ソーシャルディスタンスの設定や検疫の実施により、身体活動量が減少する。その他にも、社会的交流の減少によるメンタルヘルスへの影響、屋外時間の減少によるビタミン D レベルへの影響等も考えられる。多くの国において、NCD 患者の日常的な管理体制の変更が余儀なくされている。通院回数減少や緊急でない手術の延期は、NCD の進行や新規 NCD 発症患者の診断に重大な影響を及ぼす。

出典

<https://link.springer.com/article/10.1007/s40520-020-01601-4>

アクセス日：2020-5-27

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：全般

タイトル：Nutritional Management of COVID-19 Patients in a Rehabilitation Unit

概要：COVID-19 患者にとって栄養管理は非常に重要である。本文では 3 段階の栄養管理プロトコルを紹介している。ステップ 1：栄養評価と栄養失調のスクリーニング（①体重と身長、②体組成、③体重減少量、④血液検査データ、⑤嚥下能力、⑥喫食量）、ステップ 2：栄養に関する治療方針の設定（①エネルギーの必要量、②タンパク質の必要量、③炭水化物と脂質の必要量、④水分の必要量）、ステップ 3：継続的なモニタリング。この栄養プロトコルを使用して管理したところ、COVID-19 患者 32 例の平均

BMI 値は入院時 20.31 (SD±5.84)、退院時 23.94 (SD±5.79) と有意に上昇した (p=0.018)。

出典

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC7237874/>

アクセス日：2020-5-25

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：(高度) 急性期

タイトル：Connected to the described configuration, the ventilator did not alarm, and both test lungs expanded. The pressures and volumes measured are shown in Table 1. The combined system compliance was 54.6?ml/cmH2O (Fig. 1); not surprisingly, the TVs were unevenly distributed between the test lungs

概要：1 台の呼吸器で複数の患者の同時換気が可能かを検討した。 Servo Air が Y コネクターを通じて 2 つのテスト肺 (Cts:37 & 24 ml/cmH2O) へと接続され、PCV (PC above PEEP: 20cmH2O)、VCV (TV: 500ml/lung)、PEEP:8, f:15 の設定で換気を行った。 PCV、VCV とともに 2 つのテスト肺間で一回換気量が不均等となった。 VCV では圧アラームが作動し、死腔の増加により、一回換気量の 10%が肺へ到達しなかった。 1 台の呼吸器で複数の患者の同時換気は中止し、代替療法を検討すべきである。

出典

<https://link.springer.com/article/10.1186%2Fs13054-020-02940-4>

アクセス日：2020-5-26

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：全般

タイトル：Meeting the Care Needs of Older Adults Isolated at Home During the COVID-19 Pandemic

概要：社会的隔離により、市中在住の高齢者は孤独感や抑鬱を呈する可能性があるが、それらの症状は氷山の一角に過ぎず、食生活の変化による心疾患への影響や、外出自粛に伴う筋力低下、社会活動の制限による認知機能の低下などが挙げられ、これらは短期間で生じる可能性がある。遠隔診療にもメリットはあり、良さを伝えていく必要がある。

出典

<https://jamanetwork.com/journals/jamainternalmedicine/fullarticle/2764748>

アクセス日：2020-5-24